

新型コロナウイルスの感染者数も減少傾向にあり、やっと落ち着きを感じてきました。今回は国民が一致団結して不要不急の外出を徹底し、みんなで協力しあった成果だと思えます。

日本は台風や地震などで、幾度となく災害に見舞われてきました。その度にみんなで助け合い復興してきました。昨年は大きな台風が2度も葉山を通過し、被害にあわれたお宅も多く、弊社へのお問い合わせも100件を超え、まだ今年に入っても屋根の修理が残っている現状です。

今回は今年の台風に備える情報をお伝えしたいと思います。

台風の風の強さと、風の特徴について

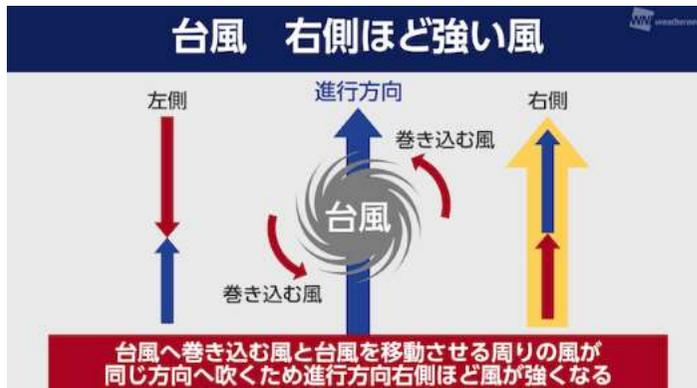
2019年9月に台風15号、10月に台風19号が葉山を通過しました。台風の接近により、降水量も1時間に60mmを超える激しい雨と強風に襲われました。葉山の一部では、数日間の停電が続いた地域もありました。今年もまた台風が葉山を通過するかもしれません。台風の季節にはまだ少し早いですが、早めにいろんな準備をしておきましょう！

台風の風速の目安

風は一定の速さで吹いているのではなく、強い時や弱い時と刻々と速さが変化しています。

『風速を表す言葉の違い』

- 風速：10分間の平均風速
- 瞬間風速：3秒間の平均風速
- 最大瞬間風速：瞬間風速の最大値



台風の進路の右側は「危険半円」と呼ばれ、特に風が強まりやすいのです。

台風の右側は、台風自身の風と台風を移動させる流れの方向が一致するため、左側より右側の方が強風になるのです。

進路によって風の強さが左右されるので、台風の右側に位置するときは注意しなくてはなりません。

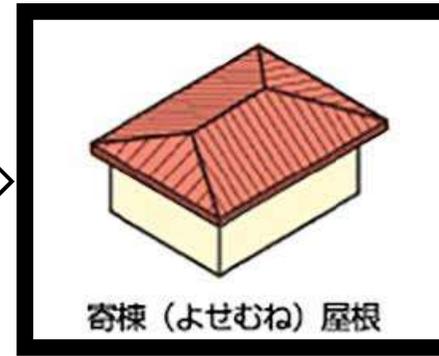
ウエザーニュースより引用

どれくらいの風速で
屋根は飛ぶの？

一般的に屋根の瓦が飛んでしまう風速は、**風速25m/毎秒**。
コロニアル、カラーベスト、スレート瓦だと、**風速60m/毎秒**くらいまで大丈夫というものもあります。

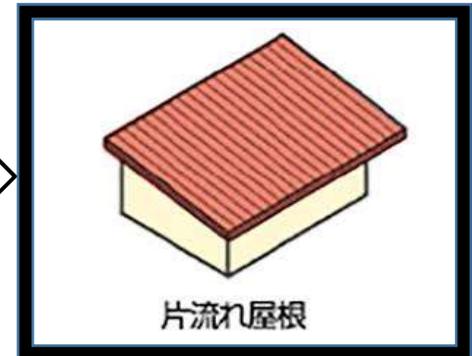
台風で強い屋根の形は？

屋根が四面の寄棟



台風で弱い屋根の形は？

屋根が一面の片流れ



この夏、台風が来る前に備えておくべきこと

★屋根の点検★



台風が来る前に定期的な点検をしておくとお心です！

【瓦、屋根材の点検ポイント！】

- ヒビが入っていないか、棟板金が剥がれていないか。
 - ズレや変色はしていないか。
 - 錆びている部分や、浮いている箇所はないか。等
- ※自分で屋根に上って点検をすることは危険です。

専門の業者等にご相談ください。



★車庫、カーポートの対策★



最近の車庫の屋根材（ポリカーボネート）は台風の際、外れるような構造になっています。屋根材（ポリカーボネート）が風で外れたとき、屋根材単体で飛んでいかないように、本体と屋根材をしっかり針金などで結んでおきましょう。

台風時、風で飛来物が車に当たりキズ付くこともあります。事前に車にカバーをかけ、風でカバーが飛ばないようにしっかり留めておきましょう。

★家まわりの点検と対策★

- 雨樋に枯葉やごみが詰まっていますか？
 - 雨戸、シャッターは閉まるか点検しましょう。
 - テレビアンテナは錆びたりゆるんだりしていませんか。
- 日頃から家の周りの点検もおきましょう！

お問合せ等 お気軽にお電話ください アシストホーム 046-877-1127